

国際ワークショップ

“Workshop on evolutionary theory of learning”(「学習戦略の進化理論ワークショップ」)

日時：2011年11月28日(月)～30日(水)

会場：京都・同志社大学・寒梅館(室町キャンパス)

外国人招待講演者：

Marcus Feldman (Stanford University、理論集団生物学)

Laurent Lehmann (University of Neuchâtel、理論集団生物学)

Stephen Shennan (University College London、理論考古学)

Joseph Henrich (University of British Columbia、進化心理学)

Magnus Enquist (Stockholm University、数理生物学)

開催趣旨：

学習戦略とは、個体学習(試行錯誤など)と社会学習(模倣など)によって、付与の環境に適合した行動を獲得するための方法である。本ワークショップでは、学習戦略の進化理論の国内外主要研究者が一堂に会して、以下の問題について最新の知見を交換し、議論を深める。(1) ヒト特異的な学習戦略が進化するための条件、(2) ヒト特異的な学習戦略がヒトの文化の形成・発展に及ぼした影響、(3) ヒトとネアンデルタール(およびその他の人類)の学習戦略の違いと石器伝統の変化速度や多様性の違いの関係。

メッセージ：

30名～40名収容可能な会議室を確保してあります。参加希望者は、発表希望の有無と併せて、B01 代表者・青木健一(kenaoiki@biol.s.u-tokyo.ac.jp)まで連絡ください。